

## ごみ処理対策等調査特別委員会が最終報告

現在、本町のごみ処理は、不燃ごみ、粗大ごみ等については小平町廃棄物処理施設で処理し、可燃ごみ、資源ごみ及び生ごみについては留萌市の美サイクル館に搬入し処理を行っているところですが、留萌市のごみ処理計画の見直しにより美サイクル館の廃止を含めた検討もされ、その中で新たに留萌市、増毛町、小平町の3市町による留萌南部広域ごみ処理計画が示されました。

このような状況の中、当議会としても「ごみ処理対策」は緊急かつ重大な行政課題と位置づけ、平成20年9月定例会において議員全員で構成する

「ごみ処理対策等調査特別委員会」（山内委員長）を設置し、集中的に調査・研究を行うこととしました。

本委員会は、留萌南部広域ごみ処理計画により、本町に建設が予定されている生ごみ処理施設の規模及び処理方式等を検討するため、道内外の先進処理施設の視察調査の外、10回に及ぶ委員会を開催、平成22年6月定例会においては、最終的な候補とされた2つの処理方式（減溶（消滅）型、水熱反応）について、公害対策・処理経費・安全安定性など専門的に比較検討した結果を基に、留萌南部衛生組合に対し最良の判断を望む内容の中間報告を行い、その後も引き続き安全性の根拠や建設予定地について協議を重ね、平成23年3月定例会において以下の意見をまとめ、本委員会の最終報告としました。

（要 旨）

1. 処理方式については、減溶（消滅）型処理方式を「了」とする。ただし、施設規模・処理能力・臭気対策・水処理対策等について十分考慮し、将来に亘る安全・安心の確保に努められたい。
2. 建設予定地については候補地として示された小平町字富岡、最終処分場隣接地を「了」とする。ただし、搬入道路の改良など安全面には十分配慮願う。

以上、生ごみ処理施設の建設にあたり処理方式等に伴う環境への問題は地域住民にとって大変重要な事項であり、将来にわたり安全性を最重視して執り進めることを強く要望する。



### 深く哀悼の意を表します

東日本大震災でお亡くなりになられた方、家族、友人、愛する方を失った方々に対しまして深く哀悼の意を表します。また避難所で不安な日々を送られている被災者の皆様に対しまして謹んでお見舞い申し上げます。

町民の皆様におかれましても、この度の震災により、少なからずご親戚やご友人、知人の方が被災されたことと存じますが、犠牲になられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

小平町は被災された地域と同じく海岸線に面し、農業・漁業といった一次産業を基幹とする町であり、いかに津波が壊滅的な被害をもたらすのかを目の当たりにしました。

当議会といたしましても、町と一体となつてできる限りの支援をさせていただき所存であります。

この震災を教訓に改めて日ごろからの防災に対する備えの大切さを認識し、町を挙げて防災意識の高揚を図らなければならぬと考えておりますので、町民皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

小平町議会議員一同

### あとがき

議会とは町民を代表する議員が町長と対等の立場で議論し、町民生活に直結する町の政策や規則を決定する場所です。

「住民自治」という言葉がありますが、「住民自治」とは住民の意思と責任に基づいて処理することを意味します。これは町民が町政に対して関心を持たなければ意味を成しません。議会は誰でも傍聴できます。町民皆さんが町政への関心を深め、町政を身近に感じるためにもぜひ皆さんの方々が傍聴されることを希望します。

最後にこれまで類をみない東日本大震災によりお亡くなりになられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに一日も早い復興を願います。

（佐々木）

●発行 小平町議会

●編集 議会広報発行

特別委員会

TEL (〇一六四)

五六―二二―一